

## 長井崎中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針について

---

### 1 概 要

市及び教育委員会は、「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」（平成 29 年 5 月策定）において、早急な対応が必要とされた長井崎中学校区について、よりよい教育環境の整備と教育の質の更なる充実を目指し、これまで検討してきました。

検討に当たっては、一定の集団規模を確保するという教育的観点に加え、まちづくりの観点等にも配慮しつつ、総合的な判断が求められることから、関係各課と諸課題等について協議、調整を行いました。

その結果、令和元年 5 月 16 日開催の教育委員会定例会において、当該中学校区における適正化について、下記のとおり方針を決定しました。

### 2 長井崎中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針

- (1) 内浦小学校と西浦小学校を統合し、長井崎中学校と併せ、小中一貫校化する。施設は、現在の長井崎中学校とし、令和 3 年 4 月の開校を目指す。

#### 【理由】

- ・児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばすためには、早期に複式学級の解消及び少人数学級の緩和を図り、一定の集団規模を確保する必要がある。
- ・これまで、内浦小学校・西浦小学校・長井崎中学校は、連携・交流を継続して行っており、統合後、児童生徒がスムーズに学校生活を送ることができる。

- (2) 小中一貫校化後も引き続き児童生徒数の推移により、隣接する学校との統合に向けた取組を進める。

#### 【理由】

- ・長井崎中学校区の児童生徒数は今後も減少傾向が続くことが見込まれ、一貫校開校 5 年目（令和 7 年度）には複式学級を編制する規模となる学年が生じる見通しであることから、再度、適正化を図る必要がある。